

# 島しょ地域の温室効果ガス排出量 (1990年度～2023年度)

2026年3月

オール東京62市区町村共同事業  
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」



## 本報告書における注意点について

### ① 町村が独自に算定している温室効果ガス排出量との関係について

温室効果ガス排出量の現況推計のための統一された算定方法はなく、国の「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」でも算定方法の例示に留まっているため、従前から現況推計を行っている町村の算定方法は独自のものとなっている。

このため、本算定手法で算出した排出量と町村が独自に算定している排出量はいずれも推計値であり、数値は異なる。

### ② カーボン・オフセット等の施策の成果について

本報告書は、各町村の地球温暖化防止に係る計画策定や施策に活用いただくことを目的に、温室効果ガス排出量の現況の基礎データを提供するものである。したがって、カーボン・オフセット等による各町村の施策の成果等は計上していない。

### ③ 三ふっ化窒素の追加について

2013年度より三ふっ化窒素を算定対象として追加することとした。三ふっ化窒素は地球温暖化係数が16,100と非常に大きく（二酸化炭素：1、メタン：28、一酸化二窒素：265）、京都議定書の第二約束期間で新たに追加された対象ガス種である。

### ④ 基準年度について

本報告書でいう基準年度は、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素については1990年度、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六ふっ化硫黄については1995年度、三ふっ化窒素については2013年度を指す。

### ⑤ 四捨五入の関係について

本報告書において、各町村それぞれの温室効果ガス排出量を合計した値と、「島しょ地域の温室効果ガス排出量」は四捨五入の関係で異なることがある。また、温室効果ガス排出量の推移における各年度の合計も四捨五入の関係で異なることがある。

### ⑥ 三宅村の排出量について

三宅村は、三宅島噴火災害による全島避難のため、2000年度～2004年度における温室効果ガス排出量は0とした。

### ⑦ 算定年度について

本報告書掲載の年度は基準年度から直近年度までとする。なお、算定に必要な全ての統計データが公表された後に算定の実施が可能となることから、直近年度は本報告書発行年度の2年前となる。

## ⑧ 算定結果を引用する際の出典の記載例について

自治体の公表物の中で本報告書の算定結果を引用する際には、次のように出典を明示すること。また、編集・加工等して利用する場合は、出典とは別に、編集・加工等を行ったことを明示すること。

### 【出典記載例】

“出典：オール東京 6 2 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」『島しょ地域の温室効果ガス排出量（1990 年度～2023 年度）』（2026 年 3 月）”

### 【編集・加工等を行った際の記載例】

“表 I-2 島しょ地域における部門別二酸化炭素排出量の推移」を加工して作成”

## ⑨ 電気の CO<sub>2</sub> 排出係数の定義変更について

従来（2022 年度値まで）の算定では、電気事業者が発電に伴い排出した CO<sub>2</sub> 排出量を販売した電力量で除して算出した「未調整排出係数」を用いてきたが、国の「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」での使用係数の変更に合わせて、2023 年度値の算定からは、電気事業者が調達した非化石証書などの環境価値が反映された「基礎排出係数（非化石電源調整済）」を使用することとした。

なお、2022 年度値までの算定結果を含めた経年推移を確認する際には、上述の通り排出係数の定義が異なるため留意が必要である（※自治体別の算定結果については、従来の未調整排出係数で算定した 2023 年度値も参考として併記）。

## 用語・単位について

### 二酸化炭素排出係数

燃料 1 単位（例えばガスの場合  $1\text{ m}^3$ ）の燃焼に伴う二酸化炭素（ $\text{CO}_2$ ）排出量を表す。なお、電気の二酸化炭素排出係数は、 $1\text{ kWh}$  の供給に必要な燃料の燃焼に伴う二酸化炭素排出量を意味することが一般的で、単位は  $\text{kg-CO}_2/\text{kWh}$  となる。

記載箇所) III-2 電気の二酸化炭素排出係数に関する要因

### 地球温暖化係数（Global Warming Potential：GWP）

二酸化炭素と比べて、他の温室効果ガスがどれだけ（何倍）温暖化に影響を与える能力があるかを示す数字である。例えば、メタン（ $\text{CH}_4$ ）のそれは 28 とされており、これは二酸化炭素の 28 倍程度の温暖化する能力があることを意味する。

記載箇所) 本報告書における注意点について、主な温室効果ガスの種類について

### t- $\text{CO}_2$ / t- $\text{CO}_2\text{eq}$

t- $\text{CO}_2$  は、二酸化炭素 1 トンを意味する単位で、「トン  $\text{CO}_2$ 」と呼ぶ。また、t- $\text{CO}_2\text{eq}$  は、各種の温室効果ガスの排出量に地球温暖化係数を乗じて t- $\text{CO}_2$  相当量に換算した値に付される単位であり、「トン  $\text{CO}_2$  イクイヴァalent（equivalent）」または「トン  $\text{CO}_2$  イーキュー」と呼ぶ。

### TJ

$10^{12}\text{ J}$ （ジュール）を意味する単位で、「テラ・ジュール」と呼ぶ。

## 主な温室効果ガスの種類について

### 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)

代表的な温室効果ガスであり、我が国の温室効果ガス排出量全体の90%以上を占めている。化石燃料の燃焼などが排出源となっている。地球温暖化係数は1である。

### メタン (CH<sub>4</sub>)

天然ガスの主成分である。常温では気体で、よく燃える性質を持っている。稲作の水田、家畜の腸内発酵、廃棄物の埋め立てなどが排出源となっている。地球温暖化係数は28である。

### 一酸化二窒素 (N<sub>2</sub>O)

数ある窒素酸化物の中で最も安定した物質で、他の窒素酸化物（例えば二酸化窒素）などのような害はない。燃料の燃焼、工業プロセスなどが排出源となっている。地球温暖化係数は265である。

### ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)

塩素を有しないためオゾン層を破壊しない一方、強力な温室効果を有するフロンガスである。スプレー、エアコンや冷蔵庫などの冷媒、化学物質の製造プロセスなどが主な排出源となっている。例えば、代表的なHFCsの1つであるHFC-134aの地球温暖化係数は1,300である。

### パーフルオロカーボン類 (PFCs)

炭素とフッ素だけからなるフロンで、強力な温室効果を有する。半導体の製造プロセスなどが排出源となっている。例えば、代表的なPFCsの1つであるPFC-14の地球温暖化係数は6,630である。

### 六ふっ化硫黄 (SF<sub>6</sub>)

硫黄の六フッ化物で、強力な温室効果を有する。電気の絶縁体などが排出源となっている。地球温暖化係数は23,500である。

### 三ふっ化窒素 (NF<sub>3</sub>)

窒素とフッ素からなる無機化合物で、強力な温室効果を有する。半導体の製造プロセスなどが排出源となっている。地球温暖化係数は16,100である。

出典1) 全国地球温暖化防止活動推進センター「温室効果ガスの特徴」

<https://www.jccca.org/download/13266>

(最終アクセス日: 2026年3月4日)

出典2) 環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」

[https://policies.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/files/calc/itiran\\_2023\\_rev4.pdf](https://policies.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/files/calc/itiran_2023_rev4.pdf)

(最終アクセス日: 2026年3月4日)





# 目次

<b>I 島しょ地域の温室効果ガス排出量の推移</b> .....	1
1. 島しょ地域の温室効果ガス排出量の推移 .....	1
2. 大島町の温室効果ガス排出量の推移 .....	2
3. 利島村の温室効果ガス排出量の推移 .....	3
4. 新島村の温室効果ガス排出量の推移 .....	4
5. 神津島村の温室効果ガス排出量の推移 .....	5
6. 三宅村の温室効果ガス排出量の推移 .....	6
7. 御蔵島村の温室効果ガス排出量の推移 .....	7
8. 八丈町の温室効果ガス排出量の推移 .....	8
9. 青ヶ島村の温室効果ガス排出量の推移 .....	9
10. 小笠原村の温室効果ガス排出量の推移 .....	10
<b>II 吸収量（参考）</b> .....	11
<b>III 島しょ地域の温室効果ガス排出量増減に関する考察</b> .....	12
1. 島しょ地域の温室効果ガス排出量の全体の傾向 .....	12
2. 電気の二酸化炭素排出係数に関する要因 .....	13
3. 民生家庭部門における世帯数の影響 .....	14
4. 民生業務部門における延床面積の影響 .....	15



# I 島しょ地域の温室効果ガス排出量の推移

## 1. 島しょ地域の温室効果ガス排出量の推移

表 I-1 島しょ地域における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>e<sub>q</sub>)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1</sup>
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	168.62	168.62	166.75	138.81	155.49	144.57	153.32	147.24	144.66	148.16	156.59	162.54	166.24	159.15	152.32	149.96	148.79	144.58	138.05	136.83	137.21	136.28	127.90	135.84
メタン (CH <sub>4</sub> )	1.89	1.89	1.97	1.15	1.11	1.10	1.08	1.07	1.10	1.08	1.21	1.23	1.44	3.37	0.88	0.88	0.87	0.87	0.94	0.93	0.92	1.02	1.00	1.00
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	2.40	2.40	2.13	1.47	1.49	1.54	1.44	1.28	1.38	1.33	1.21	1.19	1.16	1.13	1.08	1.40	1.44	1.44	1.42	1.41	1.36	1.21	1.23	1.23
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	1.00		1.00	2.11	2.04	1.71	5.03	5.85	6.67	7.29	8.21	9.25	12.32	13.05	14.28	15.49	17.19	18.24	19.16	20.12	20.44	17.21	10.61	10.61
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
六ふっ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	0.19		0.19	0.06	0.04	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.06	0.06	0.05	0.05	0.04	0.05	0.05	0.04	0.04	0.05	0.05	0.01	0.06	0.06
三ふっ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	0.01													0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	174.10	172.90	172.04	143.60	160.16	148.96	160.92	155.49	153.85	157.91	167.27	174.28	181.23	176.76	168.61	167.78	168.34	165.17	159.61	159.35	159.99	155.73	140.81	148.74

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

(注3) ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類及び六ふっ化硫黄については1995年度から、三ふっ化窒素については2013年度から算定している。

表 I-2 島しょ地域における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1</sup>
農業水産業	40.76	33.22	26.51	24.75	24.33	24.41	23.38	22.23	24.23	22.42	23.13	23.53	22.75	19.63	20.62	19.37	20.24	17.15	17.46	16.15	15.70	15.83	15.86
建設業	5.55	5.04	1.73	1.73	1.25	1.66	1.48	1.84	2.91	2.18	1.51	1.40	1.90	0.81	0.84	1.26	1.27	1.02	0.68	1.08	1.41	0.85	0.89
製造業	4.11	2.75	3.12	3.69	2.65	2.12	1.89	2.81	1.66	3.60	4.16	3.09	3.30	3.34	3.26	2.22	2.20	1.72	3.93	5.45	6.27	4.63	5.16
産業部門	50.42	41.00	31.36	30.17	28.23	28.18	26.74	26.88	28.80	28.20	28.81	28.01	27.94	23.79	24.72	22.85	23.70	19.89	22.07	22.69	23.38	21.31	21.90
家庭	39.03	42.16	34.26	41.98	37.48	43.61	42.43	41.80	42.58	47.46	50.75	54.37	50.01	46.92	45.06	46.19	43.80	41.65	41.72	42.52	41.95	36.91	41.12
業務	39.04	37.30	35.27	33.07	30.74	37.64	36.06	30.28	31.10	36.36	38.18	37.99	34.91	34.88	33.07	33.27	32.12	30.57	27.24	26.05	26.57	24.17	27.30
民生部門	78.07	79.46	69.53	75.05	68.23	81.24	78.49	72.07	73.67	83.82	88.92	92.37	84.91	81.81	78.12	79.47	75.91	72.22	68.97	68.57	68.53	61.08	68.42
自動車	37.47	43.72	35.23	47.43	44.56	41.16	39.21	42.96	42.87	42.31	42.20	42.91	43.26	43.41	43.06	42.92	42.84	42.53	41.97	41.91	41.69	41.56	41.56
運輸部門	37.47	43.72	35.23	47.43	44.56	41.16	39.21	42.96	42.87	42.31	42.20	42.91	43.26	43.41	43.06	42.92	42.84	42.53	41.97	41.91	41.69	41.56	41.56
廃棄物部門	2.66	2.58	2.69	2.83	3.54	2.73	2.80	2.74	2.82	2.26	2.61	2.95	3.03	3.32	4.04	3.55	2.12	3.41	3.84	4.05	2.67	3.96	3.96
合計	168.62	166.75	138.81	155.49	144.57	153.32	147.24	144.66	148.16	156.59	162.54	166.24	159.15	152.32	149.96	148.79	144.58	138.05	136.83	137.21	136.28	127.90	135.84

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

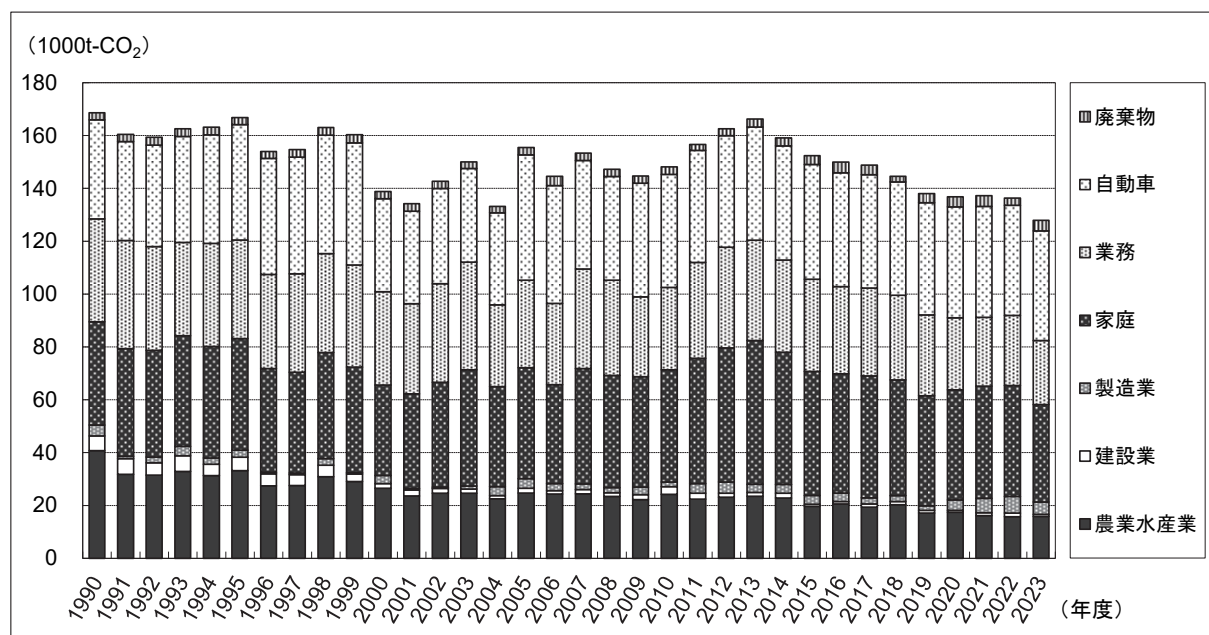


図 I-1 島しょ地域における部門別二酸化炭素排出量の推移

(注) 二酸化炭素は温室効果ガス排出量の中で大半を占めるため、二酸化炭素排出量についての推移を掲載している。

## 2. 大島町の温室効果ガス排出量の推移

表 I-3 大島町における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1)</sup>
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	52.10	52.10	43.06	41.94	39.58	36.77	40.38	39.05	37.48	37.73	40.75	42.61	43.94	41.99	40.53	38.60	38.33	37.25	36.13	35.36	36.07	36.13	32.79	35.25
メタン (CH <sub>4</sub> )	0.62	0.62	0.60	0.24	0.24	0.23	0.23	0.23	0.33	0.33	0.38	0.39	0.47	1.12	0.33	0.32	0.32	0.32	0.31	0.30	0.30	0.33	0.32	0.32
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	0.52	0.52	0.48	0.40	0.34	0.33	0.33	0.30	0.35	0.33	0.31	0.31	0.30	0.29	0.26	0.37	0.38	0.37	0.36	0.36	0.34	0.30	0.30	0.30
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	0.29		0.29	0.70	0.60	0.48	1.45	1.68	1.96	2.14	2.41	2.73	3.60	3.55	3.87	4.17	4.54	4.77	4.98	5.21	5.33	4.49	2.79	2.79
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
六ふっ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	0.06		0.06	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.00	0.02	0.02
三ふっ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	0.01													0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	53.60	53.24	44.49	43.30	40.76	37.83	42.41	41.27	40.12	40.54	43.86	46.06	48.34	46.97	45.01	43.47	43.58	42.72	41.79	41.24	42.05	41.25	36.22	38.69

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

表 I-4 大島町における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1)</sup>
農業水産業	14.20	4.52	4.16	3.65	3.52	3.26	2.94	2.87	2.66	2.49	2.65	2.56	2.56	1.99	1.86	1.86	1.75	1.73	1.78	1.52	1.48	1.47	1.48
建設業	2.05	1.17	0.59	0.45	0.25	0.69	0.37	0.58	0.57	0.46	0.68	0.29	0.36	0.14	0.34	0.30	0.48	0.38	0.27	0.35	0.20	0.07	0.07
製造業	0.23	0.66	0.18	0.25	0.15	0.17	0.21	0.20	0.19	0.32	0.20	0.13	0.13	0.14	0.13	0.11	0.10	0.10	0.61	0.86	0.92	0.68	0.77
産業部門	16.48	6.36	4.93	4.35	3.92	4.13	3.52	3.66	3.41	3.26	3.52	2.98	3.05	2.27	2.33	2.27	2.34	2.21	2.66	2.73	2.61	2.22	2.31
家庭	11.75	11.89	10.44	11.96	10.73	12.49	12.29	12.09	12.37	13.72	14.55	15.63	14.26	13.36	12.75	13.00	12.28	11.62	11.69	11.98	11.72	10.27	11.44
業務	14.33	13.71	13.45	11.23	10.23	12.27	11.73	10.18	10.20	12.35	13.22	13.43	12.81	12.71	12.04	11.68	11.21	10.63	9.81	9.77	10.55	9.12	10.32
民生部門	26.08	25.60	23.89	23.19	20.95	24.76	24.02	22.28	22.57	26.07	27.77	29.06	27.07	26.07	24.79	24.68	23.49	22.25	21.50	21.75	22.27	19.40	21.77
自動車	8.91	10.44	12.53	11.48	11.15	11.17	10.86	10.98	10.91	10.87	10.82	10.88	10.90	10.94	10.85	10.81	10.80	10.75	10.61	10.52	10.37	10.31	10.31
運輸部門	8.91	10.44	12.53	11.48	11.15	11.17	10.86	10.98	10.91	10.87	10.82	10.88	10.90	10.94	10.85	10.81	10.80	10.75	10.61	10.52	10.37	10.31	10.31
廃棄物部門	0.63	0.66	0.59	0.56	0.74	0.32	0.64	0.56	0.85	0.54	0.51	1.02	0.97	1.25	0.63	0.57	0.62	0.93	0.59	1.07	0.88	0.87	0.87
合計	52.10	43.06	41.94	39.58	36.77	40.38	39.05	37.48	37.73	40.75	42.61	43.94	41.99	40.53	38.60	38.33	37.25	36.13	35.36	36.07	36.13	32.79	35.25

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

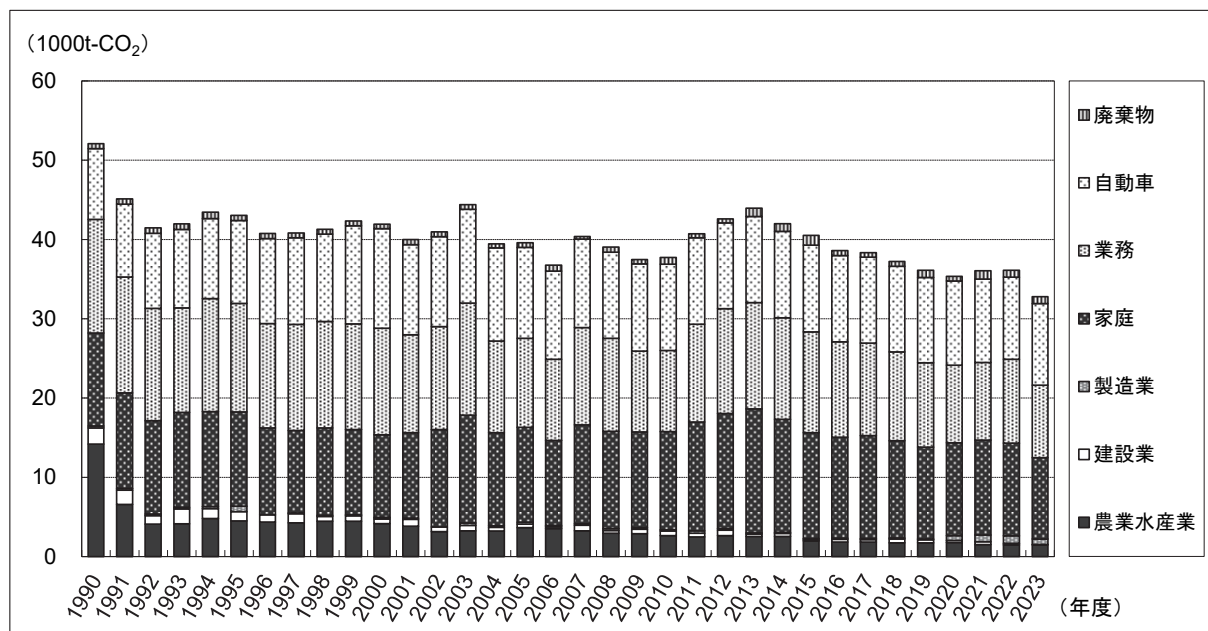


図 I-2 大島町における部門別二酸化炭素排出量の推移

### 3. 利島村の温室効果ガス排出量の推移

表 I-5 利島村における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1)</sup>
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	1.80	1.80	2.04	1.85	1.96	1.69	1.97	1.76	1.78	1.75	2.09	1.96	2.07	1.98	1.93	1.95	1.91	1.85	1.75	1.71	1.75	1.76	1.67	1.79
メタン (CH <sub>4</sub> )	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	0.16	0.16	0.14	0.12	0.11	0.11	0.11	0.11	0.12	0.12	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.12	0.12	0.12	0.10	0.10	0.10	0.09	0.09	0.09
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	0.01		0.01	0.04	0.03	0.03	0.09	0.10	0.12	0.13	0.14	0.16	0.21	0.19	0.21	0.22	0.23	0.24	0.26	0.26	0.26	0.21	0.13	0.13
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
六ふッ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
三ふッ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	0.00												0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	1.98	1.97	2.21	2.01	2.11	1.84	2.17	1.98	2.03	2.00	2.36	2.25	2.41	2.30	2.26	2.30	2.27	2.23	2.13	2.09	2.13	2.08	1.91	2.03

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

表 I-6 利島村における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1)</sup>
農業水産業	0.59	0.75	0.65	0.62	0.42	0.58	0.40	0.43	0.42	0.44	0.44	0.47	0.44	0.46	0.50	0.41	0.43	0.33	0.34	0.30	0.32	0.32	0.32
建設業	0.08	0.05	0.00	0.01	0.03	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.01	0.03	0.00	0.01	0.00	0.00	0.02	0.00	0.02	0.02
製造業	0.00	0.00	0.00	0.23	0.14	0.03	0.01	0.19	0.02	0.55	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.14	0.11	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
産業部門	0.66	0.80	0.65	0.86	0.59	0.61	0.41	0.65	0.44	0.99	0.47	0.50	0.48	0.49	0.56	0.55	0.55	0.47	0.34	0.32	0.32	0.34	0.34
家庭	0.57	0.58	0.55	0.55	0.52	0.63	0.60	0.60	0.65	0.73	0.77	0.81	0.77	0.72	0.68	0.70	0.67	0.66	0.67	0.71	0.69	0.61	0.69
業務	0.37	0.38	0.40	0.29	0.31	0.46	0.46	0.25	0.38	0.08	0.44	0.47	0.45	0.43	0.40	0.36	0.34	0.32	0.42	0.45	0.46	0.40	0.45
民生部門	0.93	0.95	0.95	0.84	0.83	1.09	1.07	0.85	1.03	0.80	1.21	1.29	1.22	1.15	1.08	1.06	1.02	0.98	1.10	1.16	1.16	1.02	1.14
自動車	0.16	0.20	0.22	0.24	0.25	0.24	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.25	0.26	0.26	0.26	0.26
運輸部門	0.16	0.20	0.22	0.24	0.25	0.24	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.25	0.26	0.26	0.26	0.26
廃棄物部門	0.04	0.08	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.05	0.04	0.03	0.03	0.02	0.03	0.04	0.03	0.02	0.04	0.03	0.02	0.03	0.04	0.04
合計	1.80	2.04	1.85	1.69	1.97	1.76	1.78	1.75	2.09	1.96	2.07	1.98	1.93	1.95	1.91	1.85	1.75	1.71	1.75	1.76	1.67	1.67	1.79

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

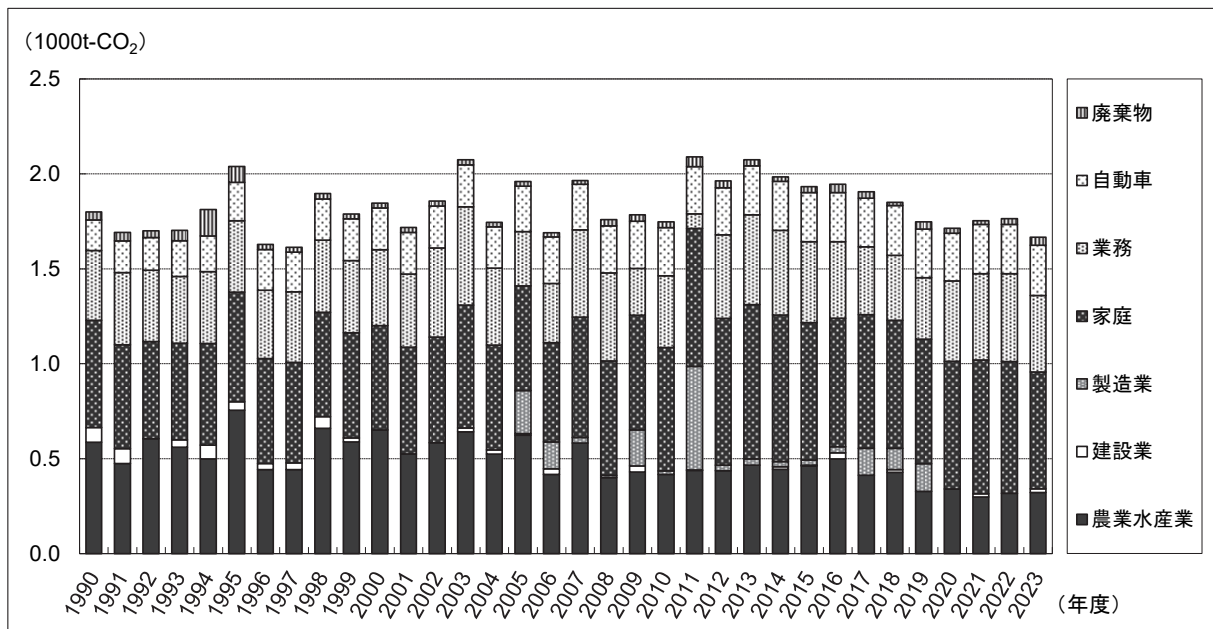


図 I-3 利島村における部門別二酸化炭素排出量の推移

## 4. 新島村の温室効果ガス排出量の推移

表 I-7 新島村における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1</sup>
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	21.18	21.18	20.81	17.75	18.32	16.96	18.62	17.34	17.21	16.68	17.31	18.36	17.89	17.31	16.21	15.88	15.79	15.23	14.73	14.48	14.61	14.23	13.42	14.28
メタン (CH <sub>4</sub> )	0.17	0.17	0.09	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.07	0.06	0.08	0.08	0.07	0.23	0.05	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	0.49	0.49	0.25	0.22	0.16	0.15	0.15	0.13	0.14	0.13	0.12	0.11	0.12	0.11	0.09	0.11	0.12	0.12	0.12	0.12	0.11	0.10	0.11	0.11
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	0.16		0.16	0.33	0.27	0.21	0.61	0.70	0.79	0.84	0.95	1.07	1.41	1.55	1.70	1.84	1.99	2.03	2.11	2.18	2.16	1.81	1.09	1.09
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
六ふっ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	0.02		0.02	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01
三ふっ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	0.00													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	22.01	21.83	21.33	18.40	18.84	17.42	19.47	18.25	18.21	17.72	18.47	19.63	19.49	19.20	18.05	17.89	17.95	17.43	17.01	16.83	16.95	16.20	14.68	15.55

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

表 I-8 新島村における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1</sup>
農業水産業	2.92	3.19	3.25	2.97	2.67	2.75	2.61	2.70	2.37	2.10	2.31	1.98	1.92	1.62	1.61	1.49	1.41	1.33	1.39	1.29	1.32	1.28	1.29
建設業	0.35	0.37	0.24	0.08	0.19	0.24	0.13	0.05	0.11	0.08	0.38	0.25	0.68	0.05	0.08	0.34	0.13	0.10	0.07	0.07	0.08	0.05	0.05
製造業	1.73	1.52	0.16	0.98	1.18	0.96	0.52	0.90	0.35	0.37	0.54	0.45	0.49	0.49	0.51	0.44	0.38	0.36	0.39	0.67	0.69	0.50	0.56
産業部門	5.00	5.08	3.65	4.03	4.04	3.95	3.27	3.66	2.82	2.55	3.23	2.68	3.08	2.16	2.21	2.27	1.92	1.79	1.85	2.04	2.08	1.83	1.89
家庭	4.70	4.62	4.03	4.98	4.39	5.24	5.09	4.94	4.99	5.44	5.89	6.46	5.93	5.60	5.35	5.51	5.25	4.96	4.84	4.93	4.84	4.33	4.84
業務	5.02	4.30	4.59	3.97	3.38	4.27	4.26	3.33	3.75	4.41	4.23	3.65	3.05	3.23	3.07	3.06	3.06	2.93	2.73	2.43	2.48	2.23	2.52
民生部門	9.72	8.92	8.62	8.95	7.77	9.51	9.35	8.27	8.74	9.85	10.12	10.11	8.98	8.83	8.42	8.57	8.31	7.89	7.56	7.36	7.32	6.56	7.36
自動車	5.64	6.00	4.79	4.76	4.63	4.70	4.41	4.95	4.83	4.69	4.65	4.78	4.86	4.89	4.79	4.78	4.78	4.78	4.65	4.60	4.59	4.50	4.50
運輸部門	5.64	6.00	4.79	4.76	4.63	4.70	4.41	4.95	4.83	4.69	4.65	4.78	4.86	4.89	4.79	4.78	4.78	4.78	4.65	4.60	4.59	4.50	4.50
廃棄物部門	0.82	0.81	0.69	0.59	0.52	0.46	0.32	0.33	0.29	0.22	0.36	0.32	0.39	0.33	0.46	0.17	0.22	0.28	0.42	0.62	0.24	0.53	0.53
合計	21.18	20.81	17.75	16.96	18.62	17.34	17.21	16.68	17.31	18.36	17.89	17.31	16.21	15.88	15.79	15.23	14.73	14.48	14.61	14.23	13.42	14.28	

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

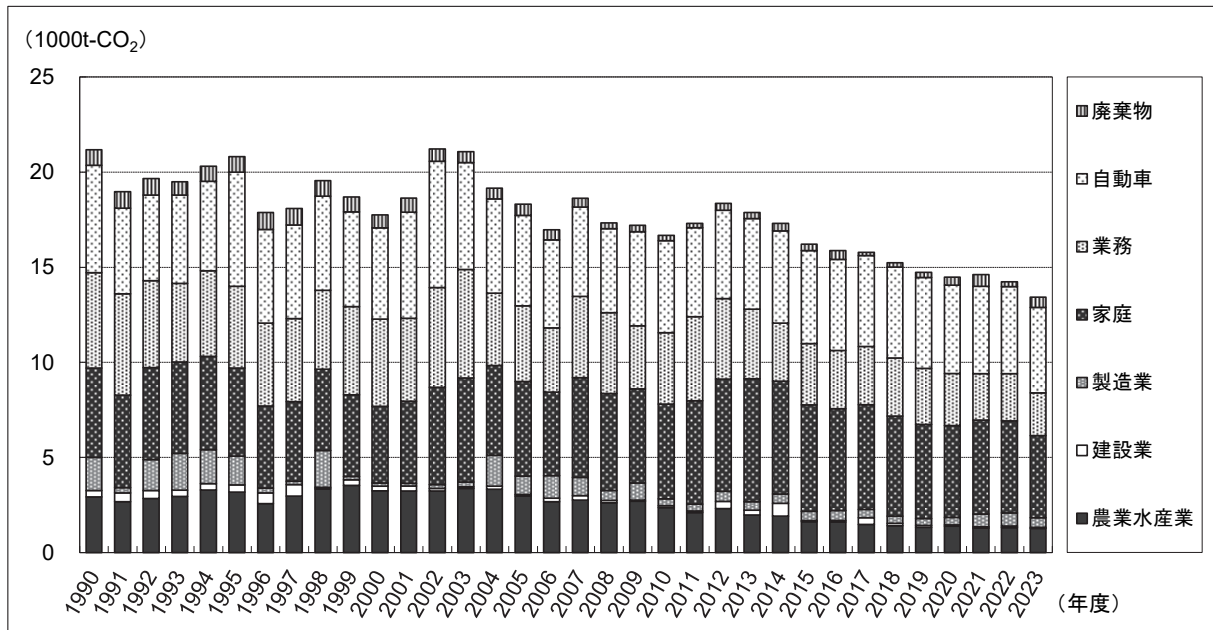


図 I-4 新島村における部門別二酸化炭素排出量の推移

## 5. 神津島村の温室効果ガス排出量の推移

表 I-9 神津島村における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1)</sup>
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	12.32	12.32	12.30	10.83	11.84	10.73	11.97	11.60	10.81	10.94	11.05	11.86	12.22	11.34	10.83	11.16	11.14	10.76	10.41	10.52	10.28	9.62	9.18	9.70
メタン (CH <sub>4</sub> )	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.07	0.07	0.09	0.14	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.08	0.08	0.09	0.09	0.09
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08	0.14	0.11	0.07	0.08	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.09	0.10	0.10	0.09	0.10	0.09	0.08	0.08	0.08
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	0.09		0.09	0.22	0.16	0.12	0.35	0.41	0.48	0.53	0.59	0.66	0.87	0.94	1.03	1.10	1.26	1.33	1.42	1.50	1.47	1.22	0.74	0.74
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
六ふっ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	0.01		0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
三ふっ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	0.00													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	12.58	12.47	12.54	11.18	12.13	11.06	12.49	12.13	11.42	11.60	11.78	12.66	13.24	12.49	12.00	12.44	12.58	12.28	12.01	12.20	11.93	11.02	10.09	10.62

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

表 I-10 神津島村における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1)</sup>
農業水産業	3.76	4.03	3.21	3.84	3.82	4.17	3.91	3.60	3.61	3.23	3.54	3.56	3.45	3.09	3.38	3.46	3.48	3.21	3.12	2.84	2.47	2.68	2.68
建設業	0.69	0.25	0.14	0.10	0.06	0.11	0.08	0.05	0.15	0.08	0.03	0.06	0.06	0.02	0.06	0.11	0.04	0.11	0.06	0.05	0.04	0.04	0.04
製造業	0.04	0.01	0.00	0.67	0.31	0.27	0.33	0.53	0.30	0.11	0.70	0.53	0.48	0.49	0.47	0.17	0.28	0.01	0.17	0.09	0.09	0.07	0.08
産業部門	4.49	4.29	3.35	4.61	4.19	4.55	4.32	4.17	4.06	3.42	4.26	4.15	3.99	3.60	3.90	3.74	3.80	3.34	3.35	2.99	2.61	2.79	2.80
家庭	2.69	3.11	2.52	2.89	2.52	2.97	2.88	2.78	2.88	3.20	3.46	3.76	3.47	3.24	3.10	3.22	3.07	2.93	2.93	3.02	2.98	2.59	2.89
業務	3.19	2.74	2.72	2.00	1.89	2.35	2.15	1.62	1.80	2.41	2.04	2.07	1.86	1.85	1.63	1.88	1.74	1.88	1.65	1.76	1.87	1.66	1.87
民生部門	5.89	5.85	5.23	4.90	4.41	5.32	5.03	4.40	4.67	5.60	5.49	5.83	5.33	5.08	4.72	5.11	4.82	4.81	4.57	4.78	4.85	4.25	4.76
自動車	1.78	2.06	2.16	2.22	1.90	1.87	2.01	1.99	1.97	1.82	1.86	1.99	2.01	2.02	2.02	2.03	2.04	2.04	2.05	2.02	2.02	2.01	2.01
運輸部門	1.78	2.06	2.16	2.22	1.90	1.87	2.01	1.99	1.97	1.82	1.86	1.99	2.01	2.02	2.02	2.03	2.04	2.04	2.05	2.02	2.02	2.01	2.01
廃棄物部門	0.17	0.10	0.08	0.11	0.23	0.22	0.24	0.24	0.23	0.21	0.24	0.26	0.01	0.13	0.52	0.27	0.10	0.23	0.55	0.50	0.14	0.13	0.13
合計	12.32	12.30	10.83	11.84	10.73	11.97	11.60	10.81	10.94	11.05	11.86	12.22	11.34	10.83	11.16	11.14	10.76	10.41	10.52	10.28	9.62	9.18	9.70

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

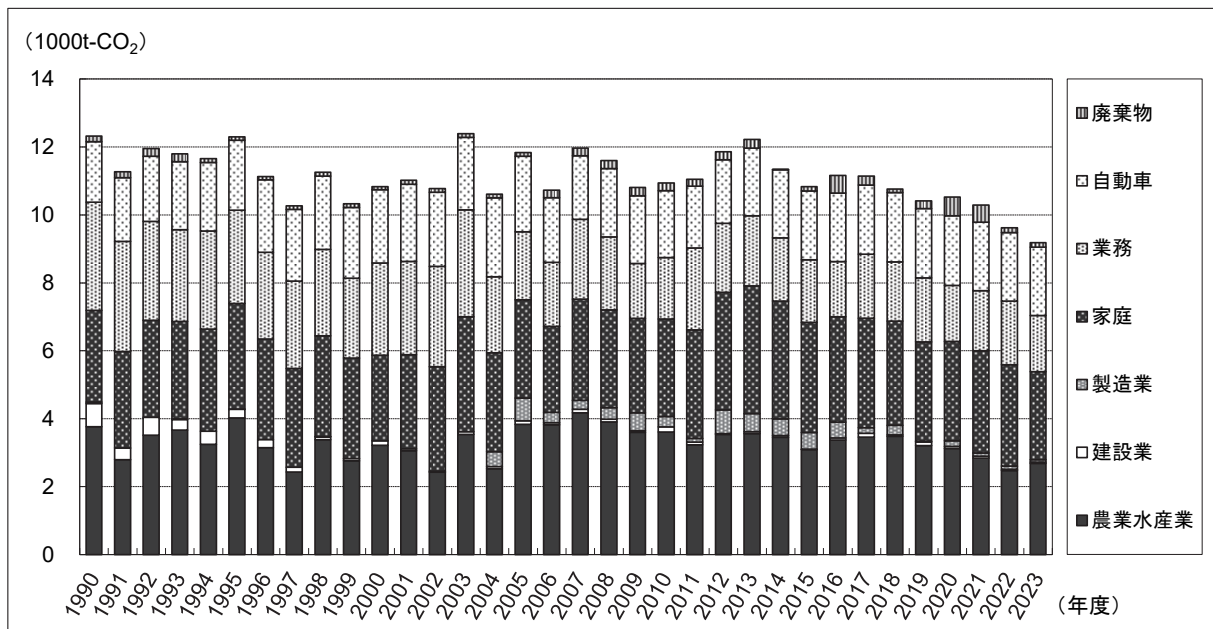


図 I-5 神津島村における部門別二酸化炭素排出量の推移

## 6. 三宅村の温室効果ガス排出量の推移

表 I-11 三宅村における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1</sup>	
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	25.45	25.45	25.70	0.00	19.59	18.56	17.11	16.48	18.01	19.29	20.74	21.11	21.49	21.15	20.55	20.17	20.55	19.60	18.99	18.68	18.47	18.32	18.16	18.97	
メタン (CH <sub>4</sub> )	0.12	0.12	0.25	0.00	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.09	0.10	0.30	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.09	0.10	0.10	0.10
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	0.36	0.36	0.41	0.00	0.21	0.21	0.16	0.14	0.17	0.21	0.19	0.19	0.18	0.17	0.19	0.25	0.27	0.27	0.25	0.24	0.23	0.20	0.21	0.21	0.21
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	0.13		0.13	0.00	0.16	0.19	0.54	0.65	0.70	0.78	0.85	0.92	1.21	1.36	1.49	1.68	1.86	2.14	2.22	2.34	2.41	2.02	1.23	1.23	
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
六ふっ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	0.02		0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.01	
三ふっ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	0.00													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	26.08	25.93	26.51	0.00	20.04	19.04	17.99	17.35	18.95	20.35	21.87	22.31	22.99	22.99	22.33	22.20	22.79	22.12	21.56	21.36	21.22	20.64	19.70	20.51	

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

表 I-12 三宅村における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1</sup>
農業水産業	6.39	5.11	0.00	0.45	0.85	0.88	0.97	0.66	1.89	1.93	1.90	1.80	1.98	1.67	1.88	1.81	2.10	1.72	1.43	1.69	1.43	1.36	1.36
建設業	0.49	0.45	0.00	0.21	0.22	0.10	0.11	0.25	0.34	0.22	0.08	0.22	0.05	0.04	0.02	0.15	0.13	0.05	0.03	0.05	0.27	0.18	0.19
製造業	0.08	0.06	0.00	0.04	0.02	0.03	0.04	0.03	0.02	0.19	1.27	0.85	0.86	0.87	0.90	0.35	0.49	0.36	0.00	0.16	0.99	0.73	0.81
産業部門	6.97	5.62	0.00	0.71	1.10	1.01	1.12	0.94	2.26	2.34	3.24	2.86	2.90	2.58	2.80	2.32	2.73	2.13	1.46	1.90	2.69	2.28	2.37
家庭	5.39	5.52	0.00	3.88	3.63	4.39	4.30	4.28	4.49	5.04	5.24	5.77	5.39	5.02	4.77	4.87	4.63	4.41	4.40	4.52	4.44	4.00	4.46
業務	3.74	3.64	0.00	2.50	2.52	3.26	3.27	2.81	3.01	3.70	3.07	3.18	2.98	2.98	2.77	3.14	2.89	2.87	2.99	2.79	2.07	2.06	2.33
民生部門	9.13	9.16	0.00	6.38	6.15	7.64	7.57	7.08	7.50	8.74	8.31	8.94	8.37	8.00	7.53	8.02	7.51	7.28	7.39	7.31	6.51	6.06	6.78
自動車	9.07	10.71	0.00	12.17	10.81	7.96	7.39	9.51	9.44	9.38	9.28	9.40	9.44	9.46	9.42	9.33	9.36	9.26	9.15	9.15	9.04	8.96	8.96
運輸部門	9.07	10.71	0.00	12.17	10.81	7.96	7.39	9.51	9.44	9.38	9.28	9.40	9.44	9.46	9.42	9.33	9.36	9.26	9.15	9.15	9.04	8.96	8.96
廃棄物部門	0.28	0.22	0.00	0.34	0.51	0.50	0.40	0.47	0.09	0.28	0.28	0.29	0.44	0.52	0.41	0.89	0.01	0.33	0.69	0.11	0.09	0.86	0.86
合計	25.45	25.70	0.00	19.59	18.56	17.11	16.48	18.01	19.29	20.74	21.11	21.49	21.15	20.55	20.17	20.55	19.60	18.99	18.68	18.47	18.32	18.16	18.97

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

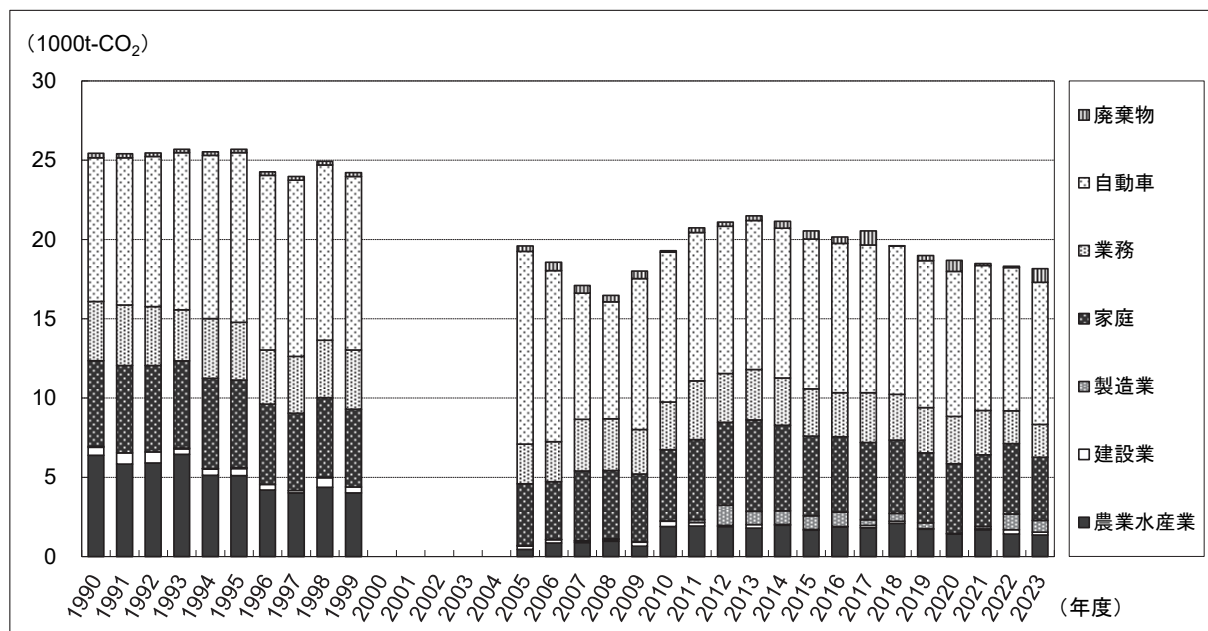


図 I-6 三宅村における部門別二酸化炭素排出量の推移

(注) 三宅村は、三宅島噴火災害による全島避難のため、2000年度～2004年度における温室効果ガス排出量は0とした。

## 7. 御蔵島村の温室効果ガス排出量の推移

表 I-13 御蔵島村における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1)</sup>
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	1.12	1.12	1.44	1.48	1.59	1.57	1.67	1.74	1.70	1.72	1.80	1.88	1.97	1.87	1.74	1.73	1.74	1.73	1.65	1.63	1.67	1.61	1.46	1.57
メタン (CH <sub>4</sub> )	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	0.03	0.03	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	0.01		0.01	0.03	0.03	0.02	0.07	0.08	0.08	0.08	0.10	0.11	0.15	0.16	0.18	0.20	0.20	0.21	0.21	0.22	0.27	0.23	0.15	0.15
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
六ふっ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
三ふっ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	0.00													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	1.17	1.16	1.49	1.53	1.63	1.61	1.76	1.84	1.80	1.82	1.92	2.01	2.15	2.08	1.95	1.96	1.98	1.97	1.89	1.88	1.97	1.87	1.64	1.75

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

表 I-14 御蔵島村における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1)</sup>
農業水産業	0.22	0.37	0.38	0.35	0.34	0.35	0.36	0.36	0.31	0.30	0.31	0.31	0.30	0.21	0.21	0.21	0.26	0.20	0.21	0.21	0.18	0.17	0.17
建設業	0.00	0.06	0.02	0.02	0.05	0.04	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.02	0.00	0.00	0.00
製造業	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
産業部門	0.22	0.43	0.40	0.38	0.39	0.39	0.38	0.36	0.31	0.30	0.31	0.31	0.30	0.24	0.21	0.21	0.26	0.20	0.22	0.24	0.18	0.17	0.17
家庭	0.50	0.52	0.43	0.54	0.49	0.57	0.63	0.64	0.67	0.76	0.82	0.86	0.79	0.76	0.73	0.75	0.71	0.70	0.68	0.69	0.69	0.62	0.69
業務	0.17	0.20	0.31	0.30	0.29	0.36	0.36	0.31	0.31	0.35	0.37	0.36	0.35	0.34	0.33	0.35	0.34	0.33	0.32	0.31	0.32	0.29	0.32
民生部門	0.68	0.72	0.75	0.85	0.78	0.93	0.99	0.95	0.98	1.12	1.19	1.22	1.14	1.09	1.06	1.10	1.05	1.03	1.00	1.01	1.01	0.90	1.01
自動車	0.18	0.23	0.26	0.30	0.32	0.31	0.31	0.32	0.34	0.32	0.32	0.36	0.36	0.37	0.38	0.37	0.35	0.34	0.33	0.33	0.32	0.32	0.32
運輸部門	0.18	0.23	0.26	0.30	0.32	0.31	0.31	0.32	0.34	0.32	0.32	0.36	0.36	0.37	0.38	0.37	0.35	0.34	0.33	0.33	0.32	0.32	0.32
廃棄物部門	0.04	0.05	0.07	0.06	0.08	0.03	0.06	0.08	0.09	0.06	0.07	0.09	0.07	0.05	0.08	0.07	0.07	0.08	0.08	0.10	0.10	0.07	0.07
合計	1.12	1.44	1.48	1.59	1.57	1.67	1.74	1.70	1.72	1.80	1.88	1.97	1.87	1.74	1.73	1.74	1.73	1.65	1.63	1.67	1.61	1.46	1.57

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

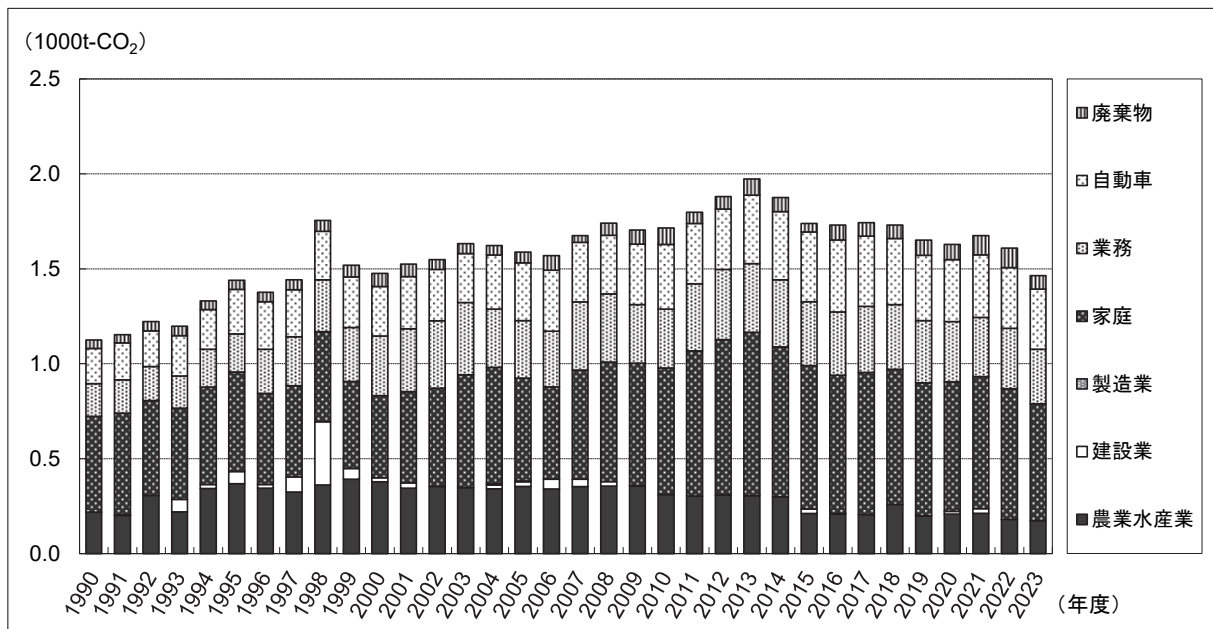


図 I-7 御蔵島村における部門別二酸化炭素排出量の推移

## 8. 八丈町の温室効果ガス排出量の推移

表 I-15 八丈町における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1</sup>
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	39.30	39.30	44.14	47.92	45.37	42.38	44.37	41.83	40.89	43.28	45.23	45.96	47.00	44.48	41.97	42.33	41.48	40.30	37.97	37.34	37.85	37.26	35.19	37.31
メタン (CH <sub>4</sub> )	0.78	0.78	0.76	0.63	0.50	0.49	0.49	0.49	0.47	0.47	0.49	0.49	0.58	1.41	0.27	0.27	0.26	0.26	0.35	0.34	0.34	0.38	0.38	0.38
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	0.58	0.58	0.54	0.49	0.44	0.43	0.41	0.38	0.38	0.33	0.29	0.29	0.28	0.27	0.28	0.35	0.36	0.36	0.39	0.39	0.38	0.34	0.35	0.35
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	0.23		0.23	0.59	0.56	0.46	1.25	1.46	1.65	1.80	1.99	2.23	2.99	3.30	3.60	3.89	4.28	4.47	4.68	4.91	5.19	4.42	2.79	2.79
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
六ふっ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	0.05		0.05	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
三ふっ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	0.00													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	40.94	40.66	45.71	49.65	46.88	43.78	46.53	44.17	43.40	45.89	48.02	48.99	50.86	49.46	46.12	46.85	46.40	45.40	43.41	42.99	43.78	42.40	38.72	40.85

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

表 I-16 八丈町における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1</sup>
農業水産業	8.33	10.62	10.40	7.75	7.92	7.57	7.27	6.80	8.13	7.57	7.03	7.57	6.88	5.65	6.05	5.45	5.80	4.61	4.46	4.33	4.18	4.50	4.51
建設業	0.98	1.62	0.49	0.45	0.29	0.44	0.30	0.53	1.27	1.09	0.33	0.34	0.42	0.26	0.23	0.16	0.37	0.20	0.16	0.41	0.22	0.10	0.11
製造業	2.03	0.49	2.78	1.43	0.84	0.64	0.72	0.96	0.77	1.99	1.39	1.08	1.27	1.29	1.16	0.95	0.78	0.71	2.49	3.47	3.33	2.46	2.73
産業部門	11.33	12.73	13.67	9.63	9.05	8.64	8.28	8.29	10.18	10.65	8.75	8.99	8.57	7.20	7.44	6.56	6.94	5.52	7.11	8.21	7.73	7.06	7.35
家庭	10.10	11.76	12.30	13.21	11.63	13.17	12.48	12.28	12.43	13.87	14.88	15.55	14.27	13.27	12.90	13.20	12.41	11.88	11.92	12.09	11.89	10.30	11.46
業務	7.76	7.82	8.81	8.37	7.94	9.67	9.10	7.60	7.62	8.17	9.71	9.80	8.76	8.76	8.47	8.60	8.36	7.79	5.82	4.92	5.36	5.27	5.93
民生部門	17.86	19.58	21.12	21.58	19.57	22.83	21.58	19.88	20.05	22.05	24.59	25.35	23.03	22.03	21.37	21.79	20.77	19.67	17.74	17.00	17.25	15.57	17.40
自動車	9.75	11.45	12.28	13.30	12.58	11.95	11.08	12.02	12.08	11.92	11.88	12.03	12.16	12.15	12.02	11.94	11.78	11.60	11.40	11.45	11.48	11.58	11.58
運輸部門	9.75	11.45	12.28	13.30	12.58	11.95	11.08	12.02	12.08	11.92	11.88	12.03	12.16	12.15	12.02	11.94	11.78	11.60	11.40	11.45	11.48	11.58	11.58
廃棄物部門	0.36	0.38	0.86	0.85	1.19	0.94	0.90	0.70	0.97	0.62	0.74	0.63	0.72	0.58	1.50	1.18	0.80	1.18	1.09	1.19	0.81	0.98	0.98
合計	39.30	44.14	47.92	45.37	42.38	44.37	41.83	40.89	43.28	45.23	45.96	47.00	44.48	41.97	42.33	41.48	40.30	37.97	37.34	37.85	37.26	35.19	37.31

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

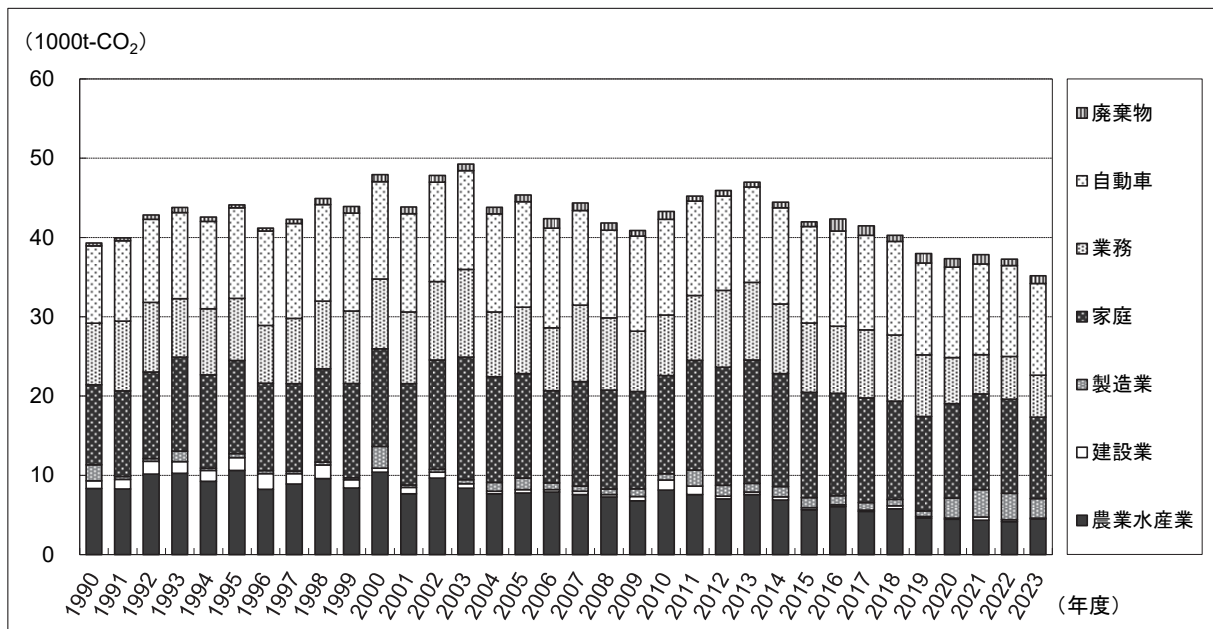


図 I-8 八丈町における部門別二酸化炭素排出量の推移

## 9. 青ヶ島村の温室効果ガス排出量の推移

表 I-17 青ヶ島村における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1)</sup>	
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	0.99	0.99	1.43	1.15	1.44	1.29	1.41	1.38	1.31	1.29	1.44	1.51	1.58	1.51	1.48	1.45	1.48	1.45	1.42	1.44	1.40	1.43	1.34	1.44	
メタン (CH <sub>4</sub> )	0.10	0.10	0.14	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.06	0.06	0.06	0.06	0.07	0.10	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	0.05	0.05	0.06	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	0.01		0.01	0.02	0.02	0.02	0.04	0.05	0.06	0.07	0.08	0.09	0.12	0.13	0.13	0.14	0.16	0.17	0.18	0.19	0.21	0.18	0.11	0.11	
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
六ふッ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
三ふッ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	0.00														0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	1.16	1.15	1.65	1.31	1.60	1.45	1.60	1.58	1.45	1.45	1.60	1.69	1.80	1.75	1.64	1.61	1.66	1.65	1.62	1.65	1.64	1.63	1.47	1.57	

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

表 I-18 青ヶ島村における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1)</sup>
農業水産業	0.13	0.20	0.20	0.17	0.17	0.18	0.22	0.18	0.18	0.20	0.17	0.18	0.15	0.13	0.10	0.11	0.12	0.09	0.07	0.07	0.08	0.09	0.09
建設業	0.01	0.25	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.01	0.02	0.00	0.00	0.01	0.04	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.00
製造業	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.04	0.04	0.02	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04	0.03	0.27	0.17	0.20	0.15	0.17
産業部門	0.14	0.45	0.20	0.27	0.17	0.19	0.22	0.19	0.20	0.24	0.21	0.21	0.22	0.16	0.13	0.15	0.19	0.12	0.36	0.24	0.31	0.24	0.26
家庭	0.39	0.48	0.43	0.53	0.49	0.57	0.55	0.55	0.51	0.59	0.65	0.67	0.62	0.60	0.61	0.62	0.58	0.57	0.56	0.56	0.54	0.50	0.56
業務	0.17	0.14	0.19	0.28	0.27	0.31	0.29	0.24	0.26	0.29	0.31	0.33	0.28	0.31	0.29	0.28	0.27	0.29	0.08	0.18	0.14	0.16	0.18
民生部門	0.57	0.63	0.62	0.81	0.76	0.88	0.84	0.79	0.77	0.88	0.96	1.00	0.90	0.91	0.90	0.90	0.85	0.86	0.64	0.75	0.69	0.66	0.74
自動車	0.29	0.34	0.32	0.35	0.35	0.32	0.32	0.31	0.31	0.31	0.33	0.35	0.36	0.39	0.39	0.40	0.40	0.41	0.41	0.40	0.42	0.41	0.41
運輸部門	0.29	0.34	0.32	0.35	0.35	0.32	0.32	0.31	0.31	0.31	0.33	0.35	0.36	0.39	0.39	0.40	0.40	0.41	0.41	0.40	0.42	0.41	0.41
廃棄物部門	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02	0.04	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02
合計	0.99	1.43	1.15	1.44	1.29	1.41	1.38	1.31	1.29	1.44	1.51	1.58	1.51	1.48	1.45	1.48	1.45	1.42	1.44	1.40	1.43	1.34	1.44

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

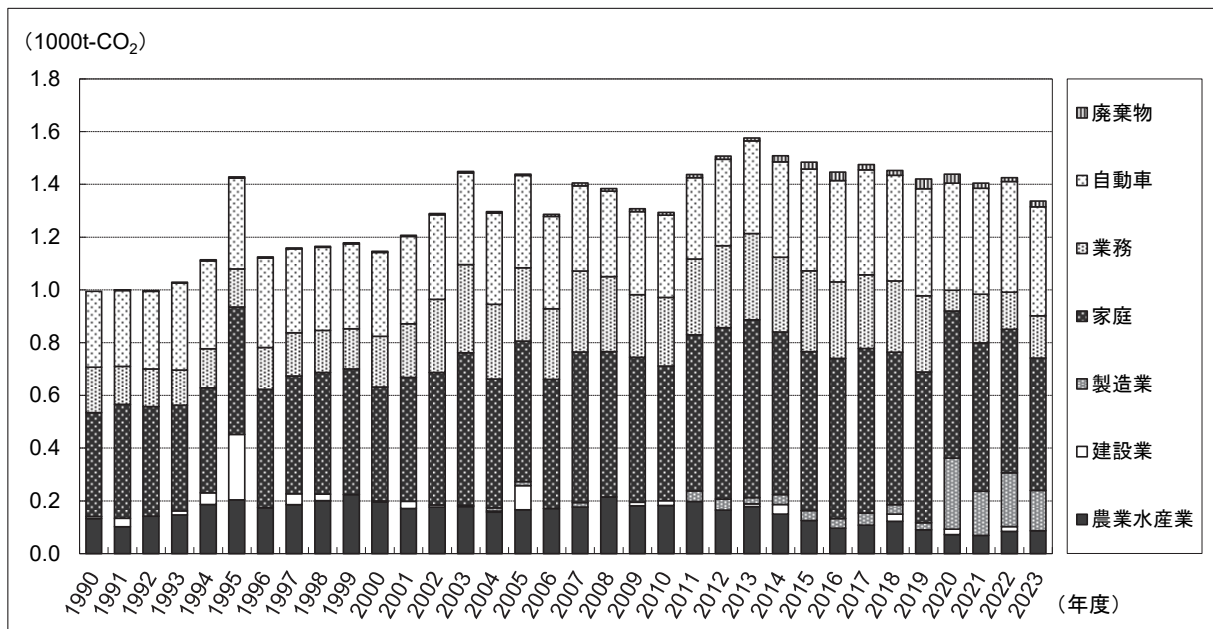


図 I-9 青ヶ島村における部門別二酸化炭素排出量の推移

# 10. 小笠原村の温室効果ガス排出量の推移

表 I-19 小笠原村における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1)</sup>
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	14.35	14.35	15.84	15.90	15.80	14.62	15.83	16.05	15.48	15.49	16.19	17.29	18.08	17.51	17.08	16.71	16.36	16.41	14.99	15.68	15.08	15.92	14.70	15.52
メタン (CH <sub>4</sub> )	0.02	0.02	0.05	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	0.12	0.12	0.13	0.12	0.11	0.11	0.11	0.10	0.11	0.11	0.08	0.09	0.08	0.08	0.07	0.07	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	0.06		0.06	0.18	0.21	0.18	0.63	0.72	0.84	0.92	1.09	1.28	1.76	1.88	2.08	2.27	2.67	2.87	3.10	3.32	3.14	2.63	1.57	1.57
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
六ふっ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	0.02		0.02	0.01	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.01
三ふっ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	0.00													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	14.56	14.48	16.11	16.22	16.15	14.94	16.60	16.92	16.46	16.54	17.39	18.68	19.96	19.50	19.24	19.07	19.14	19.38	18.19	19.10	18.32	18.64	16.37	17.18

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

表 I-20 小笠原村における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO<sub>2</sub>)

部門	1990	1995	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参考 <sup>注1)</sup>
農業水産業	4.21	4.44	4.26	4.94	4.62	4.65	4.71	4.62	4.66	4.17	4.80	5.12	5.06	4.82	5.03	4.56	4.89	3.92	4.66	3.89	4.24	3.95	3.95
建設業	0.91	0.82	0.24	0.31	0.15	0.05	0.47	0.34	0.45	0.26	0.03	0.22	0.28	0.26	0.08	0.20	0.07	0.19	0.05	0.10	0.58	0.39	0.41
製造業	0.00	0.00	0.00	0.08	0.01	0.00	0.05	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.04	0.04	0.03	0.03
産業部門	5.12	5.25	4.50	5.34	4.78	4.70	5.22	4.96	5.12	4.45	4.83	5.34	5.34	5.08	5.13	4.77	4.97	4.12	4.71	4.03	4.87	4.37	4.40
家庭	2.94	3.67	3.55	3.43	3.08	3.58	3.60	3.63	3.60	4.10	4.48	4.85	4.51	4.36	4.18	4.32	4.19	3.92	4.04	4.03	4.15	3.68	4.09
業務	4.28	4.37	4.80	4.14	3.92	4.70	4.45	3.94	3.77	4.61	4.79	4.71	4.36	4.30	4.08	3.92	3.90	3.53	3.43	3.42	3.32	2.98	3.36
民生部門	7.22	8.05	8.34	7.57	7.01	8.27	8.05	7.58	7.37	8.71	9.27	9.56	8.87	8.65	8.26	8.24	8.09	7.45	7.47	7.45	7.47	6.66	7.45
自動車	1.70	2.28	2.68	2.61	2.58	2.63	2.59	2.62	2.73	2.76	2.82	2.87	2.92	2.93	2.96	3.01	3.07	3.11	3.13	3.18	3.21	3.22	3.22
運輸部門	1.70	2.28	2.68	2.61	2.58	2.63	2.59	2.62	2.73	2.76	2.82	2.87	2.92	2.93	2.96	3.01	3.07	3.11	3.13	3.18	3.21	3.22	3.22
廃棄物部門	0.31	0.26	0.38	0.29	0.26	0.23	0.19	0.32	0.27	0.27	0.37	0.31	0.38	0.41	0.37	0.34	0.28	0.31	0.36	0.42	0.36	0.45	0.45
合計	14.35	15.84	15.90	14.62	15.83	16.05	15.48	16.19	17.29	18.08	17.51	17.08	16.71	16.36	16.41	14.99	15.68	15.08	15.92	14.70	15.52		15.52

(注1) 未調整排出係数を用いた場合の2023年度値算定結果を示す(詳細は「本報告書における注意点について」⑨参照)。

(注2) 表中の数値は小数第三位で四捨五入している。

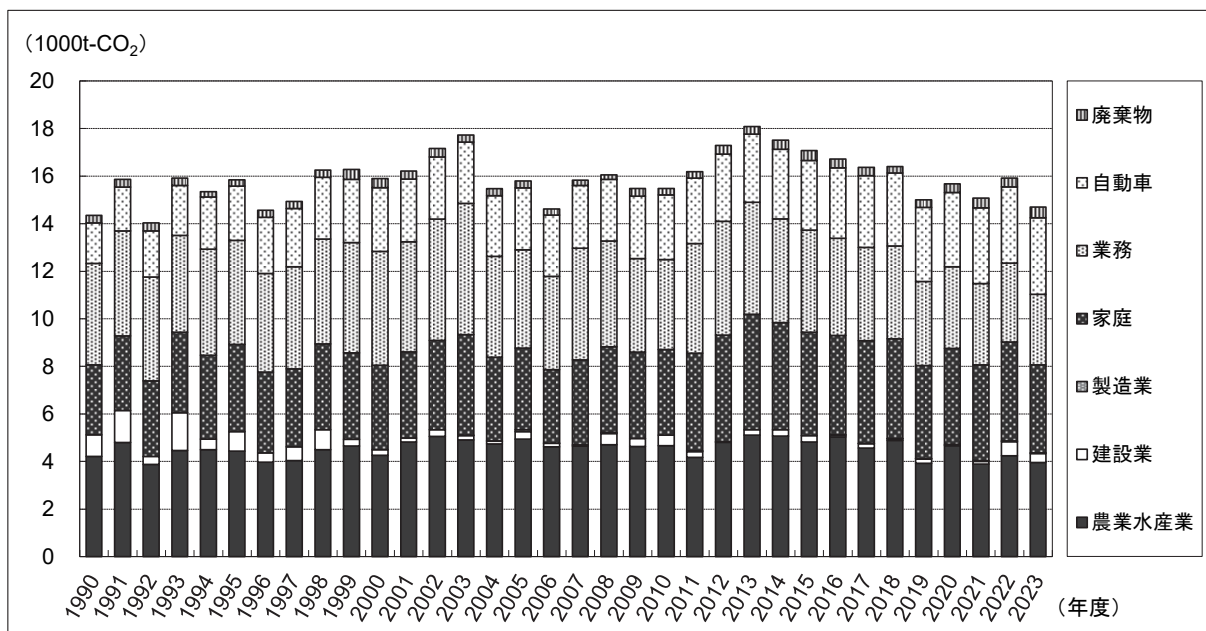


図 I-10 小笠原村における部門別二酸化炭素排出量の推移

## II 吸収量（参考）

表 II-1 町村別吸収量算定結果

（単位：1000t-CO<sub>2</sub>）

町村名	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
大島町	—	-3	12	11	12	12	-10	11	10	13	11	7	21	6	11	8	8	8	7	8
利島村	—	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新島村	—	17	4	4	4	5	3	4	3	4	3	-3	3	2	3	3	4	3	0	4
神津島村	—	61	3	3	4	3	0	2	3	3	3	1	2	1	3	2	3	1	1	3
三宅村	—	6	13	12	12	11	11	10	10	11	17	-120	8	95	11	9	-509	2	1	1
御蔵島村	—	-1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	-29	2	2	1	2	2	1	2
八丈町	—	17	13	14	11	16	9	11	11	11	9	11	10	9	10	9	10	9	8	9
青ヶ島村	—	1	1	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-4	1	1	1	1
小笠原村	—	0	0	1	1	16	0	0	0	0	1	16	0	0	0	31	0	0	0	0
島しょ地域計	—	99	48	51	45	65	15	39	38	44	45	-85	17	117	43	61	-482	25	20	28

町村名	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
大島町	7	14	5	6	6	-7	5	5	5	5	5	3	3	4
利島村	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
新島村	2	5	1	2	2	2	2	1	2	1	1	0	1	1
神津島村	2	3	0	3	1	2	1	1	1	1	1	0	0	1
三宅村	2	0	2	2	1	2	1	2	0	1	1	1	2	1
御蔵島村	2	3	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1
八丈町	8	15	7	8	7	7	6	7	6	6	6	4	5	4
青ヶ島村	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小笠原村	0	28	0	0	0	0	30	0	0	0	0	21	0	0
島しょ地域計	24	72	18	22	19	7	48	16	15	16	16	32	13	13

- (注) 1. 1990年度の値は、本来は1989年度末から1990年度末までのバイオマス増加量である。本算定では、1990年度末からを対象としているため、算定対象外とした。
2. 吸収量とは森林が成長した量に対し、吸収する二酸化炭素の量に換算したものである。したがって、吸収量の大きさは、森林の成長量の大きさを示している。
3. 上表においては、当該年度の二酸化炭素の吸収分を正（プラス）の表記としている。したがって、上表において負（マイナス）の表記となっているのは、森林が減少したことによる二酸化炭素の排出ということを意味している。
4. 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

### III 島しょ地域の温室効果ガス排出量増減に関する考察

#### 1. 島しょ地域の温室効果ガス排出量の全体の傾向

- ・2023年度の島しょ地域における温室効果ガス排出量は約14.1万t (CO<sub>2</sub>換算) で、基準年度比19.1%減、前年度比9.6%減となっている。そのうち、温室効果ガス排出量の大半を占める二酸化炭素排出量は2010年度から2013年度までは増加していたが、それ以降は減少傾向が続いている。なお、2023年度の二酸化炭素排出量が前年度比で大きく減少した要因には、電気の二酸化炭素排出係数の定義変更の影響が含まれる（詳細は後述）。

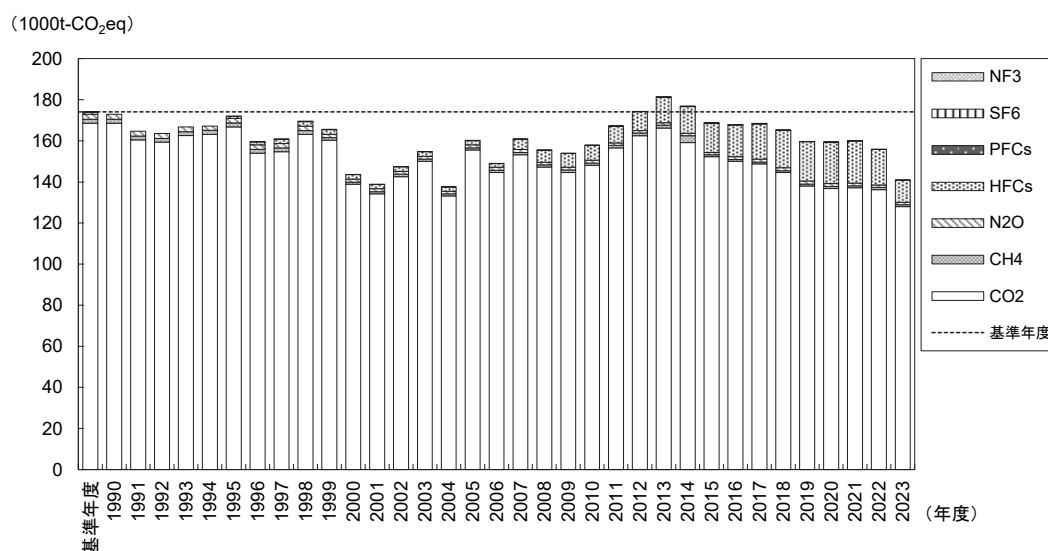


図 III-1 島しょ地域の温室効果ガス排出量の推移

- ・二酸化炭素の主要な排出源となるエネルギー消費については図 III-2 のとおりであり、島しょ地域全体では基準年度から緩やかな減少傾向で推移している。なお、2000～2004年度において総量が小さいのは、冒頭「本報告書における注意点について」で示したとおり、三宅村における全島避難の影響によるものである。
- ・二酸化炭素排出量とエネルギー消費量の傾向が異なる要因は、エネルギー消費量を二酸化炭素排出量に換算する「二酸化炭素排出係数」にある。このうち、電気の二酸化炭素排出係数は、後述のとおり毎年変動し、二酸化炭素排出量はこの影響を強く受ける。

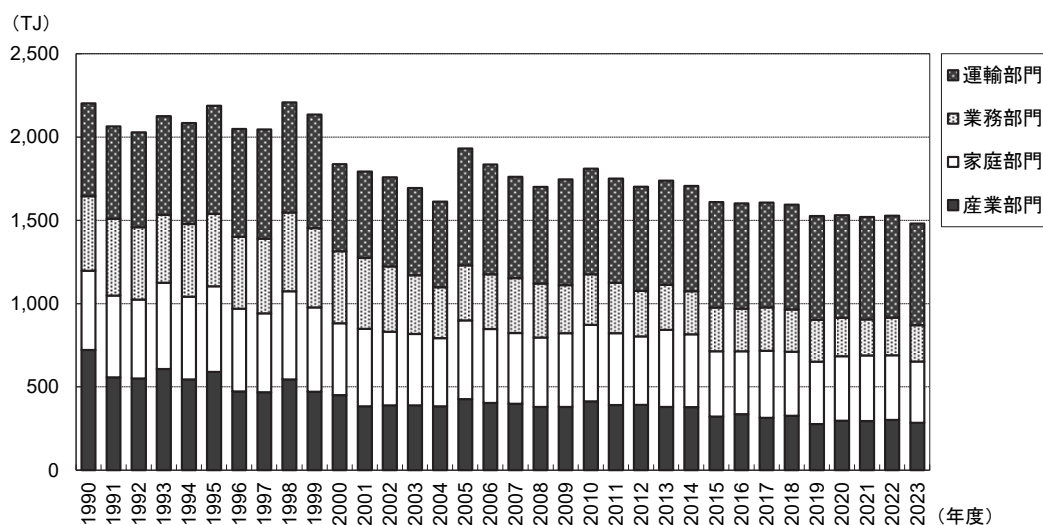


図 III-2 島しょ地域のエネルギー消費量の推移

## 2. 電気の二酸化炭素排出係数に関する要因

- 電気の二酸化炭素排出係数は、その年度の電源構成（発電量ベース）により決定される。図 III-3 において二酸化炭素排出係数が高い年度は、図 III-4 において原子力発電による発電量の割合が低いことがわかる。
- 前ページの図 III-2 において、2011 年度のようにエネルギー消費量が前年度比で増加していないにもかかわらず、図 III-1 において二酸化炭素排出量が増加している場合、その要因は電気の二酸化炭素排出係数の上昇によるものであると言える。
- 2003 年度の二酸化炭素排出係数の上昇は、「東京電力の検査・点検等の不正問題に起因する原子力発電所の稼働率低下」の影響である。
- 2007 年度の二酸化炭素排出係数の上昇は、「新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所の停止」の影響である。
- 2011 年度以降の二酸化炭素排出係数の上昇は、「東日本大震災以降の原子力発電所の停止」の影響である。
- 2023 年度の二酸化炭素排出係数の変動には、電気の二酸化炭素排出係数の定義が「未調整排出係数」から「基礎排出係数（非化石電源調整済）」へ変更されたことによる影響が含まれる（詳細は『本報告書における注意点について』⑨参照）。

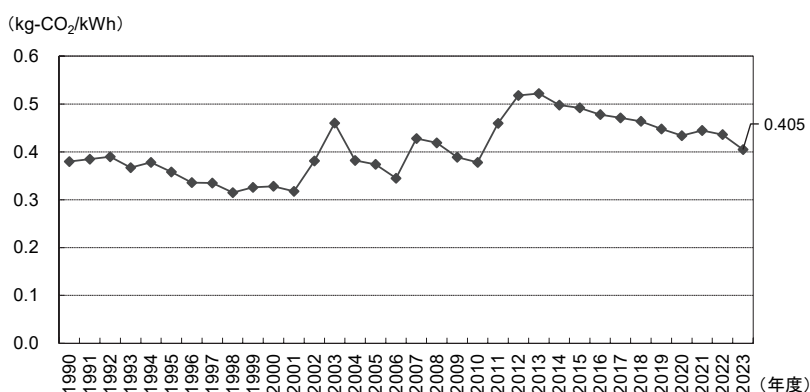


図 III-3 電気の二酸化炭素排出係数の推移

(注) 都内に電気を供給している各事業者の都内供給電力量に基づいた排出係数の加重平均値

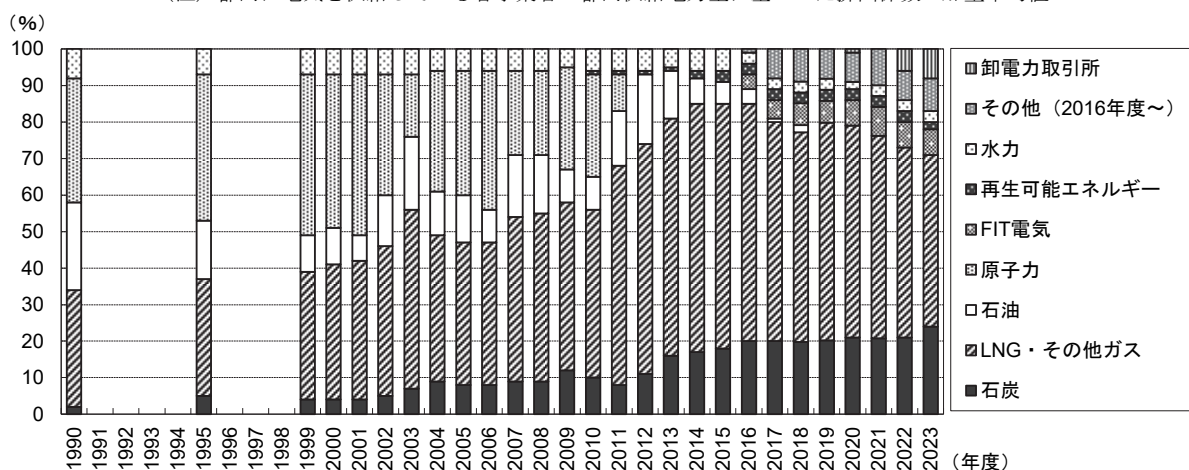


図 III-4 東京電力のエネルギー別発電電力量構成比

(出典) 2016 年度～2021 年度：東京電力エナジーパートナーHP「電源構成」各年度実績  
[https://www.tepco.co.jp/ep/power\\_supply/20xx.html](https://www.tepco.co.jp/ep/power_supply/20xx.html) (20xx の xx を当該年度の数字に置き換え)  
 2022 年度以降：「TEPCO 統合報告書」各年版  
[https://www.tepco.co.jp/about/ir/library/annual\\_report/](https://www.tepco.co.jp/about/ir/library/annual_report/)

(注) 2016 年度以降の他社受電分は「その他」に計上している。また、卸電力取引所から調達した電気には水力、火力、原子力、FIT 電気、再エネ等が含まれる。なお、2015 年度以前の数値は当時の公表データ（他社受電分を含む）を使用しているが、現在はサイト更新等により同基準でのデータは取得不可となっている。

### 3. 民生家庭部門における世帯数の影響

- ・島しょ地域の世帯数は近年減少傾向が続いており、2023年度は前年度比で1.0%減、1990年度比で3%減となっている。なお、2000年度から2004年度で世帯数が減少しているのは、三宅村における全島避難の影響によるものである。
- ・民生家庭部門におけるエネルギー消費量と世帯当たりエネルギー消費量はほぼ比例関係にあり、エネルギー消費量の増減の主な要因は、世帯当たりエネルギー消費量の増減であると言える。
- ・世帯当たりエネルギー消費量が減少傾向にあるのは、世帯人員（1世帯当たり人数）の減少等が主な要因として考えられる。加えて2011年度以降は、東日本大震災後の節電の取組とその定着、さらに省エネ設備・機器の普及等により世帯当たりエネルギー消費量が減少していると考えられる。
- ・2020年～2021年度にかけて世帯当たりエネルギー消費量が増加となった主な要因は、コロナ禍による在宅時間の増加に伴う、家庭内エネルギー需要の増加であると考えられる。

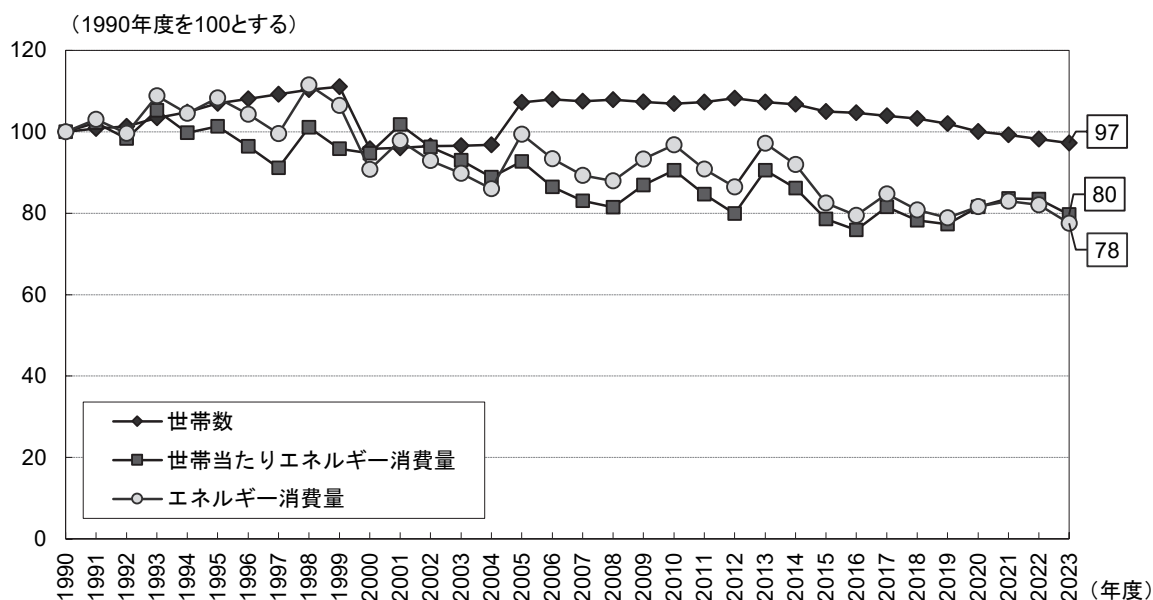


図 III-5 島しょ地域の世帯数とエネルギー消費量

#### 4. 民生業務部門における延床面積の影響

- ・ 島しょ地域の業務延床面積は近年は横ばいが続いており、2023年度は1990年度比で5%減となっている。2000年度から2004年度で一時的に、業務延床面積が減少しているのは、三宅村における全島避難により、対象地域の業務延床面積を強制的に0としたためである。
- ・ 延床面積当たりエネルギー消費量は、1990年度比で49%減となっており、この減少傾向はエネルギー消費量とほぼ比例関係にあることから、民生業務部門におけるエネルギー消費量の減少（同51%減）の主な要因は、「延床面積当たりエネルギー消費量の減少」であると言える。
- ・ 2011年度以降は、東日本大震災後の節電が定着し、また省エネ設備・機器が普及したこと等により、延床面積当たりエネルギー消費量は低い水準で推移している。
- ・ 2022年度の延床面積当たりエネルギー消費量が増加しているのは、コロナ禍からの経済回復に伴う、事業所等の稼働の増加が影響している可能性があると考えられる。

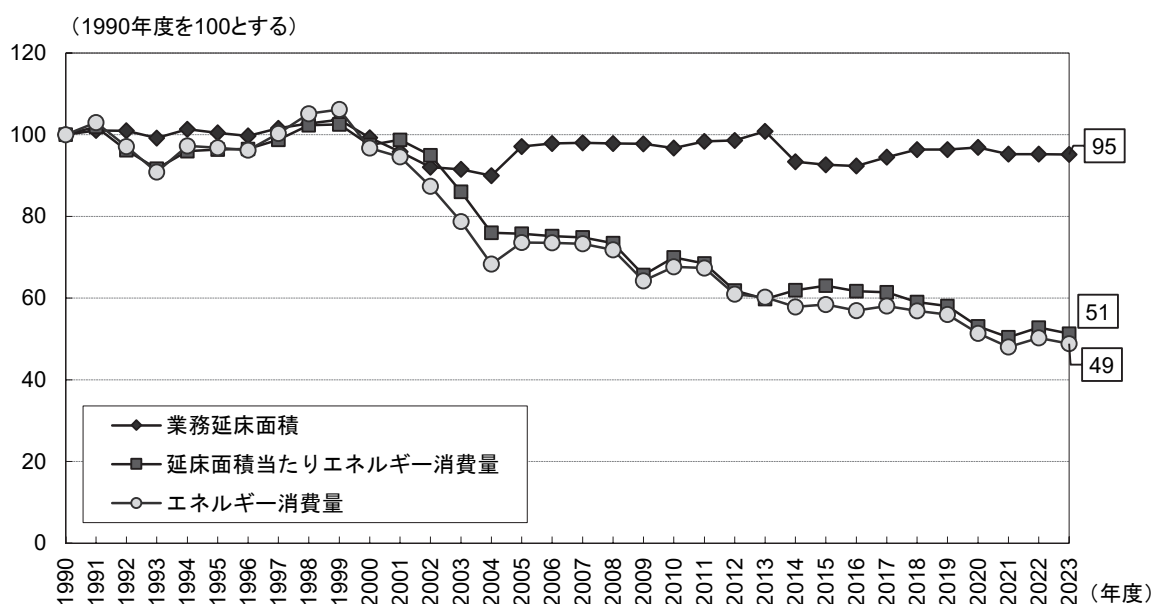


図 III-6 島しょ地域の業務延床面積とエネルギー消費量





2025 年度オール東京 62 市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

「島しょ地域の温室効果ガス排出量」

発 行 2026 年 3 月

主 催 特別区長会・東京都市長会・東京都町村会

企 画 (公財) 特別区協議会

(公財) 東京市町村自治調査会

本書は、株式会社住環境計画研究所に委託し、オール東京 62 市区町村共同事業として作成したものである。

本書は再生紙を使用しています